川棚川洪水

洪水避難地図 ハザードマップ

災害に備えた事前の心得

日頃からの準備が大切！

1 非常持ち出し品の事前準備

Check 準備している持ち出し品を ☑ しよう！

- □懐中電灯　□携帯ラジオ　□電池・充電器　□水
- □非常食（缶詰など）　□使い捨て食器・ラップ　□タオル
- □自分証・通帳等重要書類のコピー　□ティッシュ類
- □万能ナイフ・ロープ　□ガムテープ・マジックなど
- □着替え（衣類・下着）　□救急セット（常用薬）・お薬手帳
- □同児用品（おむつ・粉ミルクなど）　□圧縮袋・ビニール袋
- □石けん・歯ブラシ類　□生理用品・高齢者用おむつなど

日頃からこまめに用意しておこう！

10キロ程度に納めよう！

10kg

2 安全な避難経路の確認

Study マップ上の自宅と近隣の避難所に印をつけて避難経路を確認しよう！

最寄りの避難所	
避難所への移動時間	徒歩　分

近くの避難所への安全な道を事前に確認しておこう！

土砂崩れの可能性があるので、避難所は避けよう！

3 地域の防災訓練への参加

地域の防災訓練には積極的に参加しよう！

自分と自治会の防災計画を確認しよう！

4 家の周りを点検・整備

家の前の排水溝がつまっていないか！雨で吹き飛ばされそうなものはないか！気をつけよう！

波や風で落ちてきそうなものはないか！

この地図は、想定される最大規模の降雨により川棚川が氾濫した場合、浸水が予想される区域と浸水の深さ、各地区の避難所などの情報を示したものです。（川棚川本川を対象としたものであり、支川の浸水想定区域は対象に含みません）

過去の洪水被害

川棚川は、川幅が狭いことなどから、過去幾度となく台風や大雨による災害に見舞われてきました。

主な過去の洪水

昭和23年9月	408.7mm（24時間降雨量）
昭和31年8月	279.5mm（24時間降雨量）
昭和42年7月	237.0mm（24時間降雨量）
平成2年7月	375.0mm（24時間降雨量）

洪水被害の状況

平成2年7月、梅雨前線による洪水では、波佐見町内でも浸水や家屋破損など多くの被害がありました。

湯無田郷 中通付近（H2.7）

岳辺田郷 万年橋付近（H2.7）

波佐見町内での被害状況

床上浸水	65戸
床下浸水	225戸
家屋全半壊	4戸
一部損壊	26戸

災害時の避難場所

災害時はどちらに逃げても構いません

指定避難場所　災害の危険がなくなるまでの必要な期間、または自宅へ戻れなくなった住民が一時的に滞在可能

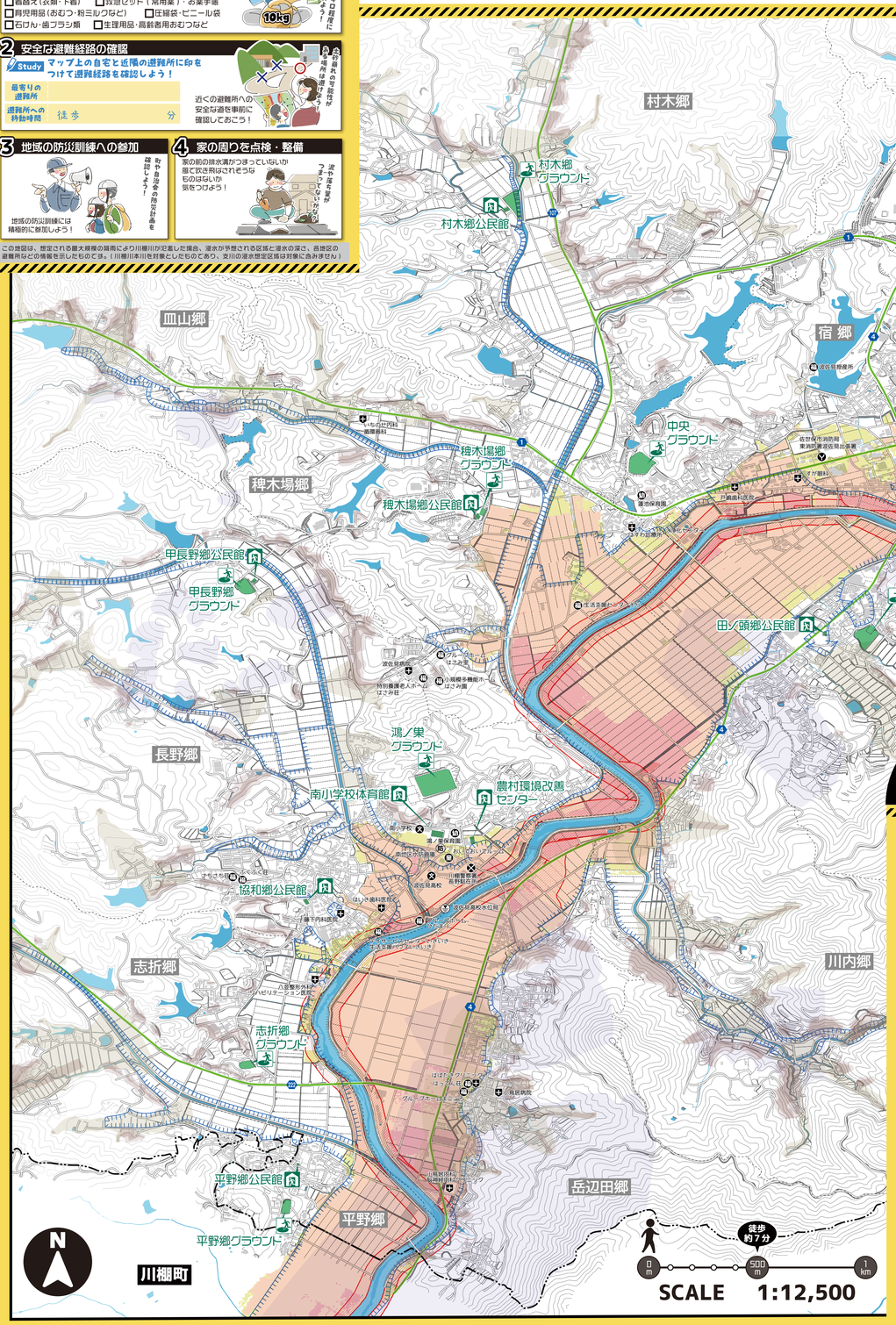
指定緊急避難場所　災害による危険が切迫した状況において、住民等の生命の安全の確保を目的として住民等が緊急に避難する際の避難先

記載する避難場所・収容人数はあくまでも目安です。災害時の状況に応じて、マップ上の近くのどの避難場所に避難しても構いません。

地区	指定避難場所	収容人数※	電話番号	指定緊急避難場所	収容人数※
永尾郷 小樽郷 湯無田郷 井石郷	勤労福祉会館	約 190 人	85-2214	甲辰園グラウンド 🚚 東小学校校舎内教室（1 階浸水のため 2 階以上）	約 570 人 約 80 人
金屋郷 折敷瀬郷 宿郷	折敷瀬集落センター 波佐見町体育センター 波佐見町総合文化会館	約 90 人 約 430 人 約 210 人	85-2292 85-5992 85-2034	中央グラウンド 🚚	約 500 人
稗木場郷	稗木場郷公民館	約 60 人	85-5042	稗木場郷グラウンド 🚚	約 70 人

地区	指定避難場所	収容人数※	電話番号	指定緊急避難場所	収容人数※
田ノ頭郷	田ノ頭郷公民館	約 30 人	85-3673	田ノ頭郷グラウンド 🚚	約 350 人
川内郷 岳辺田郷 乙長野郷	南小学校体育館 農村環境改善センター	約 280 人 約 230 人	85-2414 85-6428	鴻ノ巣グラウンド 🚚 南小学校校舎内教室	約 990 人 約 200 人
協和郷	協和郷公民館	約 50 人	85-3799	-	-
志折郷 平野郷	平野郷公民館	約 20 人	-	志折郷グラウンド 🚚 平野郷グラウンド 🚚	約 110 人 約 80 人

※ 🚚 マークは車中泊避難が可能です。車両での避難は早期に行いましょう。



凡例

- 主要幹線道路
- その他市道・道
- 県界
- 町界
- 字界
- 役場
- 警察機関
- 消防機関
- 病院・診療所
- 福祉施設（高齢者・障がい者）
- 小中高等学校
- 幼稚園・保育所
- 学童クラブ
- 水位局・水位標
- 水防倉庫

避難所　指定緊急避難場所　指定避難所

土砂災害

かけ崩れ	土石流	地すべり
特別警戒区域	特別警戒区域	
警戒区域	警戒区域	警戒区域

過去の浸水区域（H2.7 の浸水区域）

浸水想定区域

家屋倒壊想定区域

- 氾濫流で木造の家が壊れる可能性有り
- 河川侵食で木造の家が壊れる可能性有り

2階の屋根以上浸水

5.0m　2階の屋根まで浸水

3.0m　2階の床下まで浸水

0.5m　1階の床下まで浸水

自分の居住区域を意識して、速やかに避難行動を取ろう

早めに避難所へ避難して下さい！

木造の家は倒壊、または屋上階まで浸水が想定されるため、早めの避難を行いましょう！

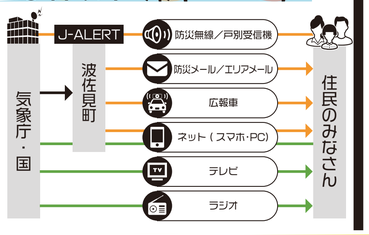
避難所へ避難 屋内安全確保

※浸水想定は想定雨量 970mm/24 時間によるもの

雨の強さと避難指示

災害が発生した時に、状況に応じた正しい判断をするためには、正確な情報を入手することが大切です。役場は、防災無線やホームページで気象情報や災害情報をお知らせします。

また、テレビやラジオ、長崎県のホームページでも情報を見ることができます。情報に注意し、行動をするようにしましょう。



避難する際の危険

1 既に川が氾濫している場合

水深 30cm 以上の場合
車での避難は危険です

水深 50cm 以上の場合
大人でも歩行が困難です

車の制御・走行が困難になる他、部分的に低い道で水没し、動けなくなる例が多発しています。また、氾濫水は濁っています。歩く場合は水路と道路の境や蓋の開いたマンホールがないか、棒で足下を確認しながら進みましょう。

自動車の車体が浮き上がる、ドアや窓が開かず車内に閉じ込められるなど、車での避難は大変危険です。

また、成人男性でも歩行困難となり、徒歩での避難も大変危険です。無理に避難所に向かわず、近隣での安全確保に努めましょう。

2 長時間または連日の雨で地盤が緩んでいる場合

土砂災害警戒区域を確認し、安全なルートで避難所に向かいましょう。

⚠ 逃げ遅れた場合

＼事情があって逃げ遅れた！どうしよう！／

既に川が氾濫している・地盤が緩んでいるなど、避難場所への移動が危険な場合は、以下の安全確保を行いましょう。

◆近隣の頑丈な建物の2階または3階以上に移動する

◆自宅内の2階や斜面から遠い部屋など、少しでも安全な場所に移動する

災害の状況によっては、想定以外の場所での浸水・土砂災害が発生する恐れがあります。正確な情報を入手して、早めの避難を心がけましょう！

避難時の心得

早めの避難を！

1 正確な情報収集で自主避難

2 動きやすい服装で避難

3 集団（2人以上）での避難

4 近隣への声かけ

とくに足腰が弱い方や聴覚障害などの方は手助けが必要な人と協力して避難しよう

※災害の状況によっては表示されている範囲以外の場所でも浸水や土砂災害が発生する可能性があります。正確な情報に基づいて早期の避難を心がけてください。

波佐見町の防災メールの登録はこちら　要登録

防災メールを登録することで、緊急時に波佐見町役場から発信する防災メールをお持ちの携帯電話で受信することができます。

http://www.town.hasami.lg.jp/machi/kurashi/2/3/1/1707.html

緊急速報エリアメールについて　自動受信（登録不要）

エリアメールはNTT ドコモ、KDDI、ソフトバンクが提供する、国や地方公共団体が提供する災害・避難情報を特定エリアに一斉配信するサービスです。

http://www.town.hasami.lg.jp/machi/kurashi/2/3/2/461.html

戸別受信機の無償貸出申請はこちら　要申請

地域コミュニティ無線を利用した戸別受信機の設備工事を行っています。戸別受信機は、緊急放送以外にも地域の様々な情報を受信できます。（R3.4 放送開始予定）

https://www.town.hasami.lg.jp/machi/kurashi/2/3/2/461.html

インターネットでは川棚川の水位や雨量を見ることができます

長崎県防災システムブックス（NAKSS）

http://www.saigai-ssbb.pref.nagasaki.jp/

長崎県 総合防災ポータルサイト

http://www.pref.nagasaki.jp/bb/

問合せ先　波佐見町役場 総務課　TEL：85-2111

2020.12 作成